

別紙（1）

1. 目的

岩手を守り、日本を変えるとのスローガンのもとに、県内各自治体の希望する議員有志で、その資質向上を図る。

2. 参考とすべき事項・所感

- ① あいさつ 木戸口参議院議員
- ② 祝辞 達増知事
- ③ 講演 京都大学准教授 柴山圭太氏

【グローバル化の限界と世界経済】

○EUやトランプ政権など今日の世界情勢についての講演

○日本の問題

- ・一極集中
- ・国民資本主義を目指す
- ・地方への富の分配

○世界を視点に、日常、あまり接することのない話題を研修でき、議員活動の参考になった。



調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議長 千葉大作様



報告年月日	平成29年6月9日		
実施日(期間)	平成29年6月6日～平成 年 月 日		
実施場所 (行先等)	盛岡市 県庁		
事業区分 (いずれかに○)	研 修 調査研究	要望・陳情活動	会 議
事業内容	一関市の当面する課題について、達増知事への要望		
報告者	(会派名) 希望	(代表者)	佐々木清志
参加者	議員 菅原啓祐 議員 千葉幸男 議員 岩淵善朗 議員 議員	議員 千葉信吉 議員 金野盛志 議員 佐々木清志 議員 議員	議員 議員 議員 議員
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙(1) 2. 概要・・・・・・・・別紙(2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙(3)		
主要 資料名	要望書及び関連資料		

別紙（1）

1. 目的

当市の当面する課題について、知事へ要望

- ① 特に、I L Cが正念場
- ② 社会資本整備も道路、河川とも整備推進
- ③ 災害公営住宅（内陸部）早期に整備を

2. 参考とすべき事項・所感

- ① 一関市の課題については、承知している。
- ② 知事として、可能な限りの努力を行っており、今後も努力
- ③ I L C誘致は、国の最終判断を待つ状況。協議会と連携し、国の議員連盟や関係省庁に要請して参る、



平成29年6月6日

岩手県知事 達増拓也様

一関市議会希望

代表 佐々木清志

一関市の当面する課題への支援要望について

初夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

知事におかれては、県民の先頭に立って、県政を取り巻く、様々な危機に懸命に取り組んでおり、敬意を表します。

当会派においても、県政と同様に人口減少などの課題について、様々な提言を行い、県政と連携した活動に意を配しております。

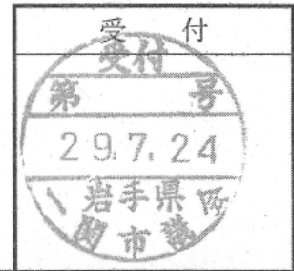
当面する県政課題については、下記のとおりであり、当市の課題解決にご尽力をお願いします。

記

- ① 国際リニアコライダーの実現について
- ② 両磐保健医療圏の地域医療体制の充実について
 - ・磐井、千厩、大東及び南光県立病院の医師確保
- ③ 東京電力福島原発事故による放射性物質汚染対策について
 - ・広葉樹の損害賠償
 - ・汚染物質の適切な処理
- ④ 東日本大震災からの復興支援等に関する国県道等の社会資本整備について
 - ・国道284、342、343、456号線の整備促進
 - ・主要地方道、一般県道の未改良区間の整備促進
 - ・災害公営住宅の早期整備
- ⑤ 一級河川の整備促進について
 - ・砂鉄川、黄海川、金流川
- ⑥ 防災情報伝達の整備促進について
 - ・地デジの受信環境整備、防災行政無線屋外広報マスト整備への財政支援
- ⑦ 基幹産業である農林業振興
 - ・農地利用集積促進、戸別所得補償廃止対策、農業基盤整備予算確保
- ⑧ 定住環境整備
 - ・所得向上施策の充実、奨学金制度の拡充、県民の生活格差の是正

調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議長 千葉大作様



報告年月日	平成 29年7月24日		
実施日(期間)	平成29年6月26日～平成 年 6月 28日		
実施場所 (行先等)	長岡市—長岡クリーンセンター 長野市—教育問題、太陽光発電ガイドライン 福島市—福島第1原発事故由来の損害賠償		
事業区分 (いずれかに○)	研 修 調査研究 要望・陳情活動 会 議		
事業内容	同上		
報告者	(会派名) 希望	(代表者)	佐々木清志
参加者	議 員 菅原啓佐	議 員	千葉幸男
	議 員 岩淵善朗	議 員	佐藤弘征
	議 員 金野盛志	議 員	佐々木清志
	議 員 千葉信吉		
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙(1) 2. 概要・・・・・・・・別紙(2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙(3)		
	別紙		

別紙（１）

１． 目的

長岡クリーンセンター

- ① 生ごみを分別し、発電へ。
- ② 大幅な維持管理費を売電で生み出す。
- ③ プールや温泉施設の状況

長野市

- ① メガソーラー設置の際のガイドライン
- ② 公立保育所の適正規模及ぶ民営化基本計画

福島市

- ① 東電福島原発事故由来の広葉樹などの損害賠償の申し入れ

別紙（２）

概要

長岡市

- ① １日最大で 65 トンの生ゴミを分別
- ② 生ゴミと紙おむつをバイオガス発電へ。FIT で 40 円で売電
- ③ 維持管理費が年間 180,000 千円。このうち、売電で 130,000 千円賄う。
- ④ 燃えるゴミの量が 20%程度削減
- ⑤ 最終処分場、焼却施設のコンパクトが実現

長野市

【メガソーラーガイドライン】

- ① 秩序ある開発のため、250KW 以上の届け出義務
- ② 設置の契機は、市長参加の懇談会で市民より提言

【公立保育所の適正規模及民営化基本計画】

- ① 背景は少子化
- ② 公立の保育所は 39、うち 5 か所は民営化へ運営委託
- ③ 私立は 48、幼稚園も 20
- ④ 全体として私立が多い
- ⑤ 職員は、他の部署へ移動はない（取り決め）
- ⑥ 民営委託を 3 年間実施し、直ちに、民営化ではない。
- ⑦ 保護者の反応は概ね良好

別紙（3）

2. 参考とすべき事項・所感

長岡クリーンセンター

- ① 当市でも導入すべき内容と感じた。
- ② そのためには、市民のゴミに対する意識の醸成が必須
- ③ ゴミ袋を統一に異議が生じるようでは、実現困難か？

長野市

- ① 規模の大小はあるが、適正規模や民営化は、当市でも検討が必要
- ② メガソーラーのガイドラインは、既に森林法等の規制法令があり、あまり必要性は感じなかった。

東京電力

- ① 別紙の申し入れを実施、回答を求めた。



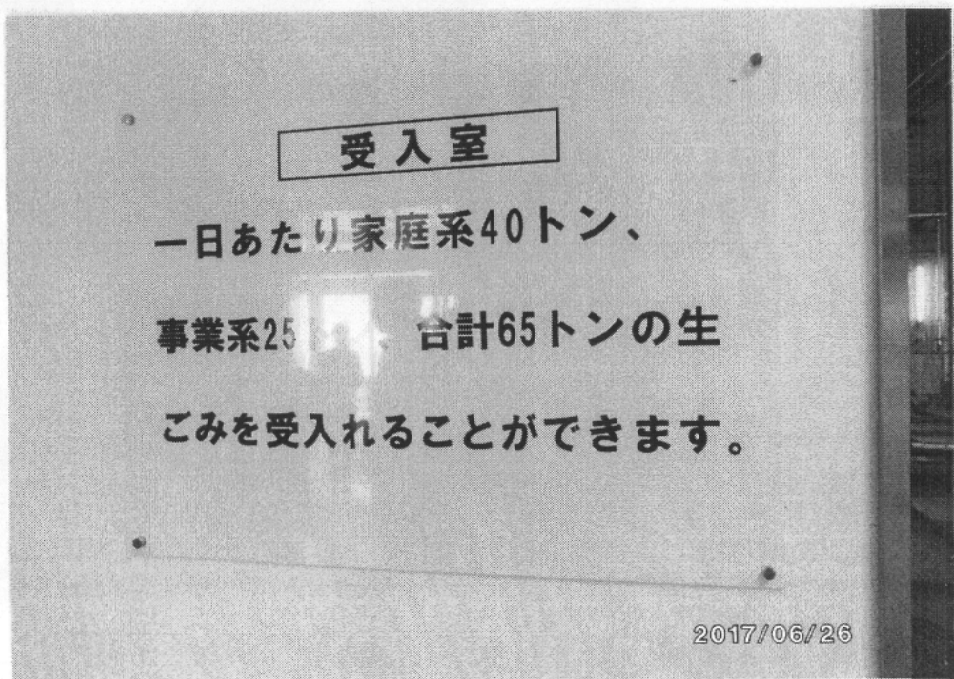
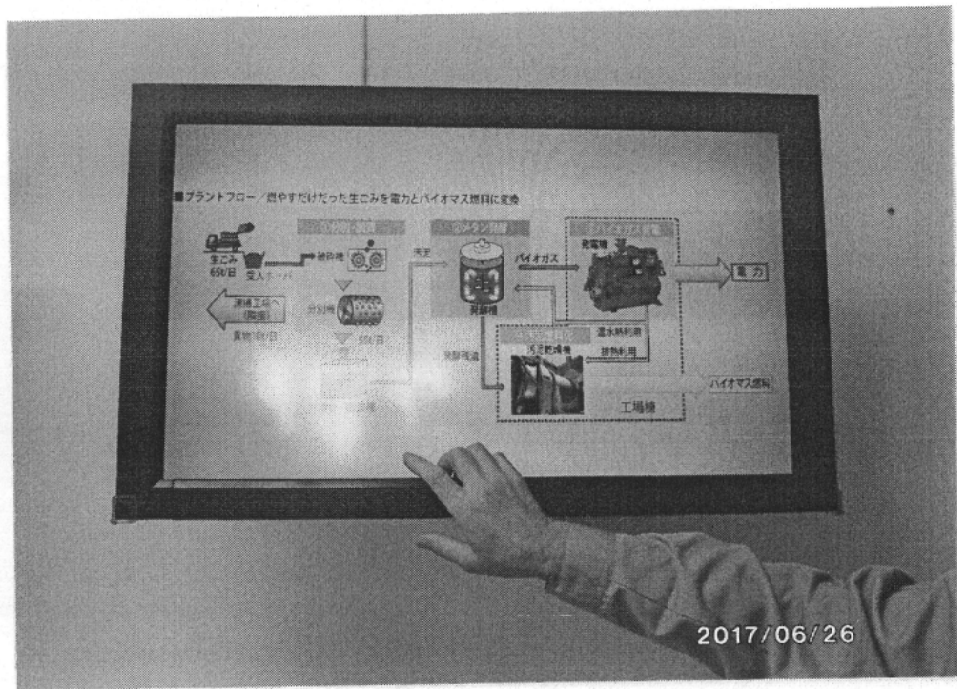
長岡市クリーンセンター



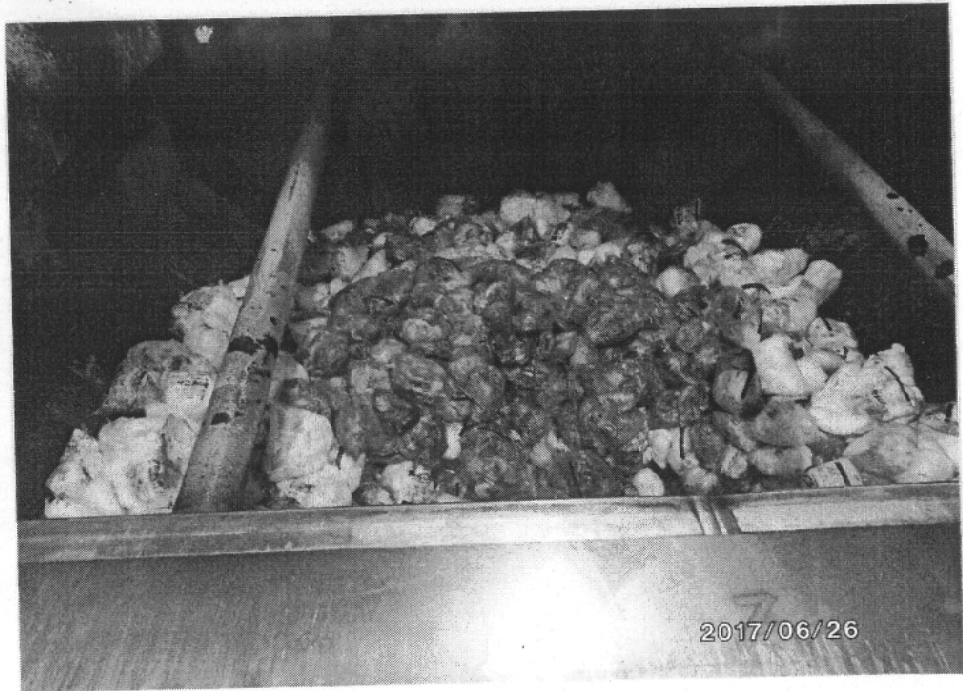


長岡市クリーンセンター

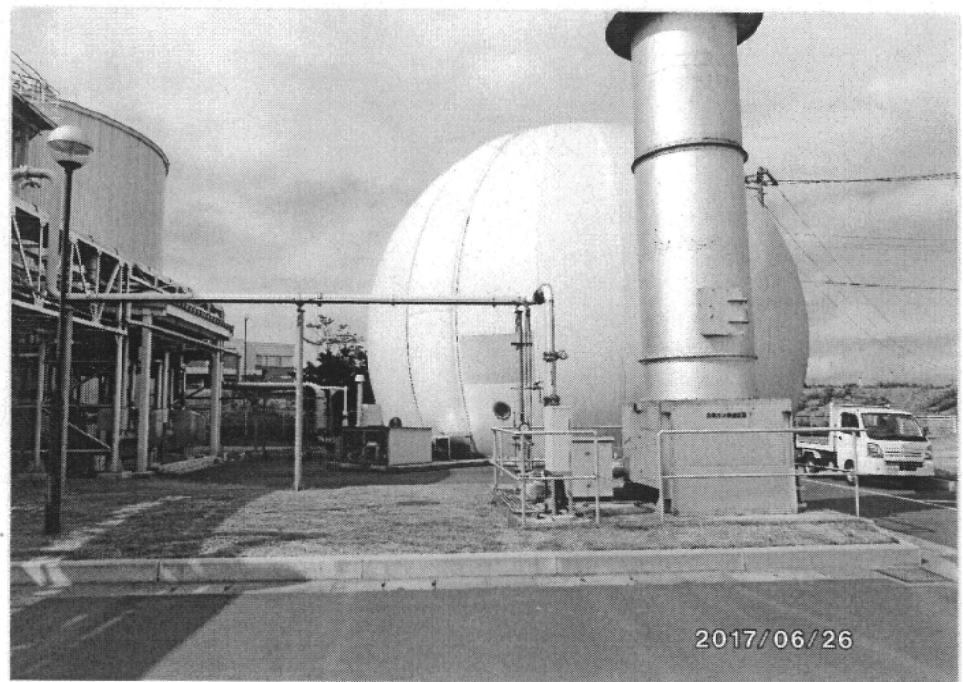


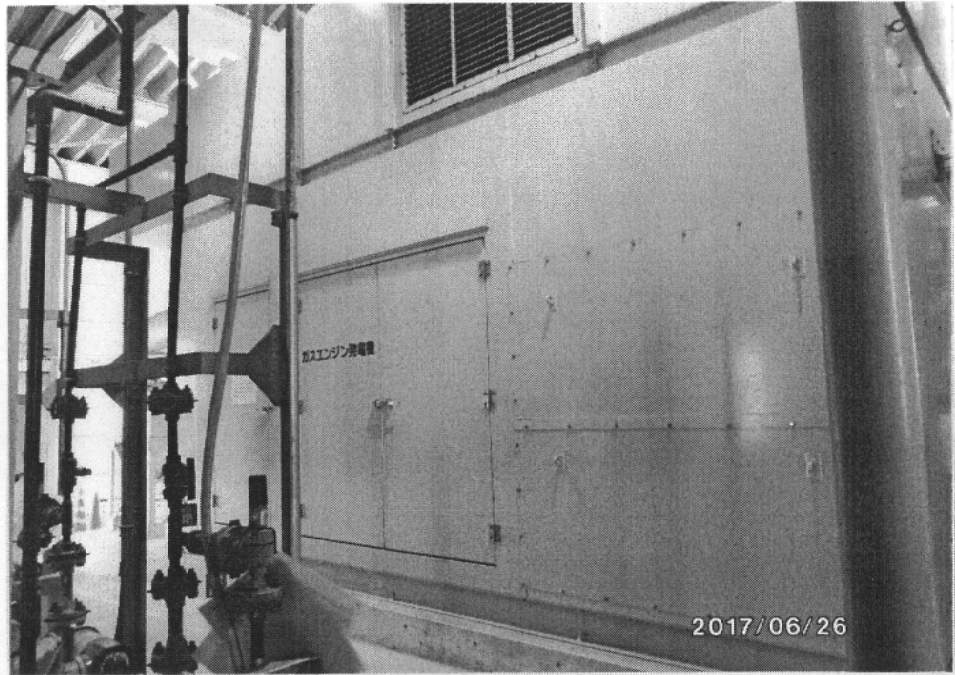






赤...生ゴミ
白...紙ゴミ

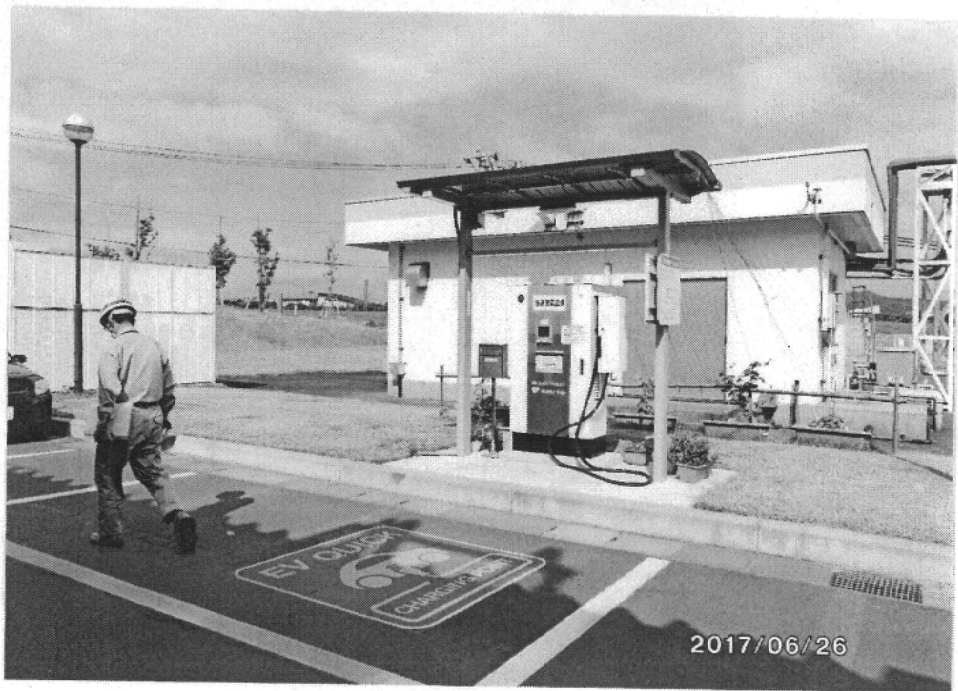




建物が狭い(4ヶ月空回し... PFI効果か)



リサイクル



EV充電機



複合施設. 年間利用者. 1,5万人

エコトピア寿 入館料

使用区分 種別	高齢者 (65歳以上) 障害者・介助者	一般 (64歳まで)	高校生	4歳以上 中学生以下
個人券 (当日券)	350	500	350	250
回数券 (11枚つづり)	3,500	5,000	3,500	2,500
半年券 (購入日より 6ヶ月間有効)	6,300	9,000	6,300	4,500
団体券 (20名以上)	280	400	280	200

2017/06/26



長野市



- 庁舎
- ① コソビニ入居
 - ② 1,300席複合遊設併設

平成 29 年 6 月 28 日

東京電力ホールディングス
福島原子力補償相談室 様

一関市議会 希望
代表 佐々木清志

福島第一原子力発電所事故に伴う損害賠償を求める申し入れ

標記の事故に伴い、当市の市民は甚大な被害を受け、今なお、その解消に至っておりません。

この間、貴社に対して、真摯な対応を求めてきましたが、その対応は、納得できる状況にありません。

今回は、山林、特に広葉樹の損害賠償について、福島県内と同様な対応を求めるものである。

当市は、以前から、しいたけの生産を行ってきましたが、全滅となり、最近、ようやく、原木での生産が再開されました。しかし、市内の原木でなく、その単価も、事故前の数倍の状況にあります。

事故前は、市内の広葉樹を原木に利用していたが、事故後は、当然ながら、山林の伐採ができず、利用したとしても、原木ではなく、チップ以外に利用できず、山林の荒廃が進む状況にある。

加えて、当市は資源循環型のまちづくりを目指し、公共施設を中心に冷暖房の熱源として、木質のチップを活用しているが、樹皮のセシウムがあるため、割高なホアイトチップにせざるを得ない状況にあり、このことについても、損害賠償を求めるものである。

従って、事故の加害者としての責任を認識し、広葉樹に対して、福島県内と同様な賠償を行うことを求める。

なお、本件については、7月15日までに文書で回答を願います。



東電



